

リュドミラ・ハルトウニアンさん(アルメニア)

アルメニア共和国は、平均海拔 1,800 メートルのコーカサス南部に位置する典型的な山岳国です。同国は、世界でも最も多くの災害に見舞われる国の一つで、海に関するもの以外、地震、地すべり、ひょう、干ばつ、暴風、洪水など多くの種類の災害が発生します。

私は、領土管理省の下にある国立地震防災研究所(NSSP)に所属しています。NSSPは、地震災害予測、政府や地方当局の準備体制強化、早期警戒システム構築、住民教育など、地震防災事業全体を管轄しています。最近では、国レベルとして住民の防災意識啓発プログラムが策定され、それに関する研修がアルメニア全土の公立学校、大学、高等教育機関などで実施されています。

防災というものは、今日では、国の経済水準に関わらず、全ての人々に関わってきています。ADRC 客員研究員としてより幅広い知識を得ることは、将来の私の仕事のためにだけでなく、アルメニア全体にとっても非常に重要だと認識しています。

ADRC に来てから 3 ヶ月が過ぎましたが、これまでに JICA 防災行政管理者セミナーなどの研修への参加や、内閣府などの防災担当行政組織や学校、病院、施設などを訪問するなどいたしました。今後とも、自然害のリスクを軽減するという共通の目標へ向かって、日本における防災システムや関連する法的・政治的枠組を学びたいと考えています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

